

平成27年度 学校法人三幸学園 名古屋こども専門学校

自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：教務課長 新田 翼

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員長 八幡 憲治

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、保育分野の学校として「こどもを育み、人・社会を活性化することで日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、保育分野として「皆から信頼・感謝される こどもの未来をはぐくむ人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 27年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

①重点施策振り返り

平成27年度では、「取り組みの共有」を重点的に行なっていくために次の4点に取り組んだ。

1. 教職員が生徒指導を「ルールだから」ではなく「なぜやるのか」を明確に指導していくために「学生心得」を配布
⇒浸透が弱かったため、学生便覧を作成しHRを通して指導
2. クラス会議を適宜行い、顔を合わせて生徒情報および状況を共有する
⇒状況の把握のみで改善策までは結びつかず
3. 年2回、クラス便りを担任から保護者へ送付し、保護者への情報発信を行う
⇒保護者からのアンケートを回収し協力を仰いだ
4. 掃除の徹底（掃除方法の変更および掃除チェック表の提出を義務付け）
⇒やり方は浸透できたが、率先して行う姿勢までは浸透できていない

平成28年度は上記の実施状況及び反省から、「自分が主役。」をテーマに掲げ取り組んでいく。

1. 出席簿と教務手帳（履修表、授業記録）を毎日常勤職員がチェックし、整合性を図る
2. 実習マニュアル作成
3. 実習指導授業の実習時期に合わせたシラバス作成
4. 実習指導授業担当者会議の実施（週1回）
5. 学年主任制を設け、週1回学年会を実施し、クラス間格差を失くす

② 学校関係者評価委員会コメント

学校として課題に向けて具体的に取り組んでいる姿勢を評価いただいた。

教職員の情熱が実習巡回等でも伝わる旨もお褒め頂いた。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	④ 3 2 1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

① 課題

教職員、生徒ともに常に「**自らが当事者意識を持ち、自ら考えて行動し続けられる**」ことをさらに強化していく。かつ、学校内の取り組みについて、保護者や業界に向けて発信できる体制を整える。

② 今後の改善方策

配布するもの、目に着くものには、常に目標等を提示し続ける。

③ 特記事項

クラス目標の設定

学校の理念・目的・育成人材像は、入学前のオリエンテーションや保護者説明会にて新入生及び保護者に提示している(それぞれ参加率は95%・73%)。

また、入学後に行なう新入生対象のプログラムでも、学校の理念・目的・育成人材像は周知し、そこに向かうべく、個々の目標設定と管理を徹底している。(夢のスケッチブックの導入と活用)

校内及び教室に、学校の理念・目的・育成人材像の記載されたポスターを掲示している。

④ 学校関係者評価委員会コメント

八幡様)自分がここの環境を作る構成員だと思えるように、まずは周りとのコミュニケーションをとることで「自分が必要とされている」と感じられるようにしている。

制野様)まさに「人間教育」が形になったもの「心」を育てるための取り組みである。

実際に卒業生にその姿が現れている。

(2). 学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1

運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
人事、給与に関する制度は整備されているか	④	3	2	1
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	④	3	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

① 課題

定期訪問や実習巡回を通して、業界との関わりはできているが、地域との関わりが弱い

② 今後の改善方策

新設したキッズルームを活かした地域貢献と共に、地域との関わり強化と情報公開を行う

③ 特記事項

WEB上の「うさぎノート」の設置など情報システムの導入をし、情報を正確に且つ迅速に行っている。

⑤ 学校関係者評価委員会コメント

櫻井様)キッズルームは知人などがいないと参加できるコミュニティがないと思うが、どうやって告知をしていくか。告知も大事だが、リピーター(ファン)になってもらうことをまずは優先的にやってみてはどうかとご助言頂いた。制野様)学生を参加させることで先ほどの主体性が身に付く場であると思う。

(3). 教育活動

【評価項目】	適切:4	ほぼ適切:3	やや不適切:2	不適切:1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1

関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	③	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

① 課題

授業及び実習先評価の向上と教育の反映

授業見学の促進と担任教務力の底上げ

② 今後の改善方策

保育業界の動向や求めている職員像を明確にし、実習アンケートをご協力いただいた解答をもとに学生へフィードバック

担任は授業見学や担任アンケートにより自分の足りないスキルを上げる為、会議、OJTなどで面談を実施

③ 特記事項

理事長同行訪問の実施、及びエリア担当制を敷いて巡回や定期訪問に力を入れており、学校との関係を築けている。また、園長先生による模擬面接を実施し、就職試験に向けてのアドバイスをいただいた。

学校で学んだことが現場で生きる力となるために、全学的にアクティブラーニングを取り入れた授業展開を取り入れている。この教育方法における工夫を全教員に実践してもらうために、年に3回の教員研修を行なっている。また、半期に一度、生徒による教科担当への授業アンケートを実施し、フィードバックをしている。

年2回、避難訓練も取り入れ、緊急時の避難に備えた。

④ 学校関係者評価委員会コメント

制野様) 国語力は人間力である。実習の段階ではある程度のレベルに達して送り出してほしい。

(4). 学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

① 課題

精進の向上と退学率の低減。

全体会議やクラス会議等での話し合いを実施するなど対策を打ってはいるが、著しい結果にはつながっていない。
卒業生の社会的な活躍の情報収集

② 今後の改善方策

担任だけでなく授業に入っている教科担当教員も同じ気持ちで学生への教務にあたり、将来の夢に向かって気持ちが途絶えないよう協力を依頼。

定期的に個人面談の強化、及びスクールカウンセラーへの促し。

卒業生との現状を把握するためにも、定期的な同窓会の実施。

③ 特記事項

平成26年度就職決定率 100%

平成27年度就職決定率 97%

体制としては、ダブルフォローアップ制度(1人の生徒に担任と地域担当の二人体制で取り組む)を取り入れているため、職業訓練校としての役目は果たせる見込みがある(姉妹校の実績も参考となる)。

行きたくなる学校づくりとして昨年度は行事を2つ追加した。(クラスマッチ、芸術鑑賞会)

④ 学校関係者評価委員会コメント

八幡様) ボランティアに参加してくれる学生はてきぱき動いていて保護者からも評判が良い
制野様) 指定された実習だけでなく、ボランティアを積極的に謳っていくのも一つではないか

(5). 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1

学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

① 課題

実習先の確保増大に伴い生徒が希望している実習先の確保が困難になってきている。課外活動に関しても学校側から積極的なアプローチをかけられていない。

② 今後の改善方策

実習受け入れに対する理解とボランティアの斡旋を行っていただくために訪問活動を強化。

③ 特記事項

就職対策として現場の園長先生を招き就職懇談会や学内企業説明会を行っている。

学生の相談窓口として、担任や教科担当以外のものとして、スクールカウンセラーを設けている。

学生の経済的側面に対する支援体制として、特待生制度、奨学金や各種教育ローンを設けている。

学生の健康管理として、保健室の設置および配置薬の設置(外用薬に限る)を行なっている。

課外活動(主にボランティア)に対する支援体制として、実習巡回に併せてボランティアの案内もいただけるようにしている。

学生の生活環境への支援としては、提携している寮等の案内がある。

保護者との連携は、年度当初に担任より挨拶の電話を行っている。

文部科学省委託事業として「ももいく」の設置を法人として行っている。

社会人基礎力を磨くことを学生及び保護者に伝え、社会での活躍を視野にいれた指導を行なっている。

高校との連携では、職業案内のガイダンス、学校見学等で協力させていただいている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

制野様・八幡様)訪問される際は基本的にはアポを取って訪問してほしい。不在や取り込んでいたらご迷惑をおかけするので事前に連絡頂きたい。

(6). 教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

① 課題

現場の声を参考に施設設備の充実を図ったが活かされず、産学連携としての体制を築くことはできていない。

② 今後の改善方策

キッズルームを子育て支援室とし、授業の一環で近隣住民との連携を図れるようにする。

③ 特記事項

図画工作室を設置し実技授業への充足を図っている。

各分野での現場実習(及びインターンシップ実習)は生徒の希望に沿えるよう学校側と現場が連携を取り進めている。

海外研修についても任意参加のものではあるが、海外の幼稚園などと交流の持てる内容で準備している。

防災に対しては、年に数回避難訓練を実施すると共に、水・食料等の備蓄体制を整えていく。

④ 学校関係者評価委員会コメント

八幡様)園では園児全員に「まもるんBOX」の購入をして教室に保管している。

制野様)生徒数も多いため、備蓄や保管場所を再度見直すことも大事ではないか

(7). 学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

高校側に対して学校理解を深め、誤解のない学生募集を行う。

② 今後の改善方策

就職・資格取得率を資料として提示できる体制を整備する。

入学相談室と連携し、高校への訪問後情報共有をする体制をつくる。

③ 特記事項

奨学金を利用した学費応援制度の案内、保育科に関しては修学資金の案内を行っている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

櫻井様)学力の差が激しいと思うので、入学して終わりではなく事前の課題などの取り組みを頂きたい。通信制の高校全体に言えることだと思っている。

(8). 財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

社会的なニーズに即した学校の設置・増加に伴って、今後は更なる業務の多様化に対応した体制強化と整備が必要と考える。

② 今後の改善方策

- ・制度に対応した合理化、システム化の推進に取り組んでいく。
- ・規模の増加に対応するための人材の育成

③ 特記事項

○中長期的な財務基盤の安定について

- ・中期事業計画が策定され、当該計画は H25 年度に前倒しで完了している。
- ・生徒募集は堅調に推移し、予算も計画通り推移し財務基盤は安定している。

○予算および収支計画の有効性、妥当性について

- ・予算・収支計画については、正確かつ適正な予算編成を行うことを目的として、毎年度、学校責任者が策定し、総務部と理事で構成する予算編成会議において原案を策定している。
- ・予算執行状況が当初予算と乖離する場合、予算編成会議において補正予算の原案を策定している。
- ・策定された原案については、理事長説明を経て、理事会・評議員会において目的と有効性が審議され、有効かつ妥当なものとなっており、決算書、予算書、事業報告書に反映している。

○会計監査について

- ・私立学校振興助成法第14条第3項の規定に基づき、公認会計士による会計監査を受検している。また、私立学校法第37条の学校法人監事による業務監査及び関係監査を受検している。
- ・法人内部では総務部による内部監査を実施し、監事、公認会計と情報共有を行い、財務の正確性と業務執行状況について担保している。

○財務情報公開について

- ・財務情報の公開については、私立学校法に基づく体制整備している。なお、財務内容についてはWEB

で閲覧可能な状態となっている。また、事業報告書を作成し、時系列且つグラフを用いて第三者からも理解しやすい工夫を行っている。

④学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9). 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	④ 3 2 1
自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 課題

更なる法令順守の推進

② 今後の改善方策

会議や掲示物等を通じて全教職員の法令順守に対する啓蒙を継続的に図る

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1

① 課題

定期的に校舎及び施設を開放して、生徒と教員が「子育て支援」を実践している。

② 今後の改善方策

子育て支援、ボランティア、公共職業訓練における委託訓練等の実施を継続して行なっていく。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(11). 国際交流(必要に応じて)

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4	3	②
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	①
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	①
学内で適切な体制が整備されているか	4	3	2	①

① 課題

過去に留学生を受け入れた実績がないため、いざ受け入れる場合には、現場の体制が不完全である。

② 今後の改善方策

受入れ実績のある姉妹校に、対応方法等を確認し、受入れまでに準備を整える。

③ 特記事項

特になし

④学校関係者評価委員会コメント

特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

年々変化する学校内外の事象に応じて、さらに改善に取り組める部分が存在することを再確認できた。

目標や計画を具体的に設定はしているものの、外部からの評価を受けられる体制そのものが不足している状況を打開し、掲げている目標の達成はもちろん、地域や社会により貢献していける学校となるよう努めたい。